

埼玉親善大使レポート

2025 年度「GEORGIA 未来応援奨学金」

高校生限定コース

後藤 千穂

留学先：アメリカ・オハイオ

1. 現地での生活・活動

アメリカ・オハイオ州の北西部に位置するフィンドレー市に約9か月滞在しました。州都であるコロンバスからは約2時間のところにあります。

人口は約4万人で、平坦な土地ではありませんでしたが、自然が豊かで、住宅街にリスやウサギが現れることが日常的でした。自然が豊かとは言ったものの、オハイオ北部は昔から車産業が盛んで、その影響もあり多くの自動車メーカーが市内の様々なところに見られました。日本企業もありましたので、たまに日本人に会う機会がありました。また、ダウNTOWNには日本人の方が営む日本食レストランがあり、海外にいなながらも日本を楽しむことができる環境でもありました。治安は比較的良い方でしたが、田舎なこともありどこへ行くにも遠くなってしまい、場所によってはよろしくないのが基本的には車移動です。

天候に関しては、アメリカの中でもカナダよりの北側に位置する州であり、北海道と同緯度あたりですので、関東ですとずっと過ごしている私にとっては冬が長かったように感じます。2025~26年は例年よりも早く雪が降り始め、視界不良や吹雪で外出禁止令が出されるなど、過去にもあまり例を見ない冬でした。3月半ばまで少し厚手をしないと寒いくらいの気温が続き、急に気温が上がり始めたときには体が慣れず風邪のような症状が出ました。しかし、室内な基本的に暖かくされているのでコートを着てない状態での服装をベースに服を着る人も多く、慣れない天候に対応するのが難しかったです。しかしながら、空気が澄んでいて、日本の市街地のように街灯もほとんどありませんでしたので、星がとても綺麗に見られました。

一学年分過ごしたフィンドレー高校は、4学年計2000人を超える大規模な学校でした。スポーツが全体的に強い学校で、トレーニングを行うための建物が敷地内にあったり、それぞれのスポーツで使うフィールドが用意されていたりと、一選手としてスポーツに全力で取り組むことができる環境が整っていました。学校駐在のトレーナーもおり、針やカップリングなどの治療をいつでも受けることが出来ました。学校生活は、特に他の高校と大きく変わることはなく、必修科目である英・数・理・社に2教科自由選択で授業を履修することができました。その中でも特に心理学の授業は専門的な用語が多く、単語帳だけではカバーしきれず、1学期間だけの授業ではありましたが、最後まで苦労しました。その分、周りへの助けを求める過程で会話がだんだんとできるようになり、その後の友人関係にもいい影響が出ました。

2. PR 内容

姉妹校間の交換留学あり、あちらにも日本語のクラスが設置されていたので、日本語のクラスを履修している生徒に自己紹介をするタイミングで埼玉について紹介しました。日本のことを学んでいたからか、海外の人からはあまり知られていない都市を知っている生徒もいましたが、埼玉に関しては「姉妹校がある」という事実のみの生徒が多かったです。スライドの中では埼玉に関する大まかな概要と長瀬の川下りや川越・ムーミンパークなど、埼玉の中でも人気が高く県外からも観光客が訪れる場所に絞って紹介しました。長瀬の川下りは、日本ならではの地形と先人の知識を受け継いだまさに「伝統」ともいえるもので、一番熱意をもって伝えた分反応が良かったです。また、これらの資料を作っていく中で、埼玉についてより多くのことを知ることができ、特に秩父などの北部に行ってみたいなという気持ちが強くなりました。



川下りは動画で紹介しました

